

常磐小学校の再編方針についての説明会 結果概要
(区長対象)

- 開催日：令和5年7月6日(木)午後6時55分～8時12分
- 場 所：越前町生涯学習センター
- 参加者：区長6名
- 内 容：常磐小学校の再編方針案について

主な意見と回答

(参加者) 先日の保護者説明会にも出席した。今日は「保護者の理解を頂いた」という説明であったが、保護者の受け止め方と食い違っていると感じた。確かに保護者から反対の意見は無かったが、言えなかったのではないか。

(参加者) 保護者説明会后、もう一度アンケートを希望している保護者がいると聞いている。再編の話が出たことで、保護者を含め地域が割れたことは問題だと感じる。もちろん町の決定には従うが、個人的な意見としては、大事な学校が無くなることも考えて頂きたいし、令和11年まで残して欲しいと思っている。

(参加者) 「保護者の理解を頂いた」とは、どこを見て言っているのか。

(参加者) 保護者説明会の場で決められる人ばかりではなく、家族で決めなければならない。朝日小学校は教育環境が良く、明るい未来があるというが、不登校の問題など良いところも悪いところも伝えなければならない。

(参加者) 保護者説明会での総意があったと受け止めたが。

⇒(教委) 決を採ったわけではないが、これでよろしいかということでお話しした。

⇒(参加者) 打診の結果はどうだったのか。

⇒(教委) 特に異論はなかった。

(参加者) 賛否を問うたのか。

⇒(教委) 反対と手を挙げた方はいなかったが、保護者全員からわかりましたという意見も頂いていない。説明会后、PTAがアンケートを行い、保護者の中で意見が割れていることもお聞きしている。

(参加者) いつまでも学校を残すことは出来ないし、いつかは再編しなければならない。指定校変更も実施されない配慮もあり、全体的にこの案で良いのではないか。

(参加者) 教育委員会の説明も少しずつ変わり、それに伴い保護者も混乱した。いずれ常磐小がなくなるなら最初から朝日小へ行きたいという未就学児保護者の意見もわかるが、その意見が強くなりすぎて在校生の保護者もそちらについてしまい、2つに割れた形になった。常磐地区の子どもたちを育て上げる環境づくりがないと地区が疲弊してしまう。前回説明のあった令和 11 年の再編ではダメなのか。

(参加者) 今回の令和 7 年度になったいきさつがわからない。

⇒(教委) 令和 11 年度の糸生小との再編に併せる形も良いが、糸生小が遅れた場合、常磐小がさらに延びることは申し訳ないと考える。

(参加者) 保護者の方々が賛成するのであれば、我々は反対するつもりはない。教育委員会がうまくまとめて欲しい。

(参加者) もともと有識者会議での議論の結果は、常磐小は早く進めなければならないということであったのだから、今回の令和 7 年度が望ましいと思う。常磐小の小規模校が大規模校に再編されるノウハウや弊害を、将来の糸生小の再編に生かせれば良いと思う。ただし、保護者の意見は優先して欲しい。

(参加者) みんなで一緒に朝日小学校へ行く形が良いと思う。

(参加者) 少なくとも保護者の意見はくみ上げて欲しい。保護者説明会だけで突っ走って欲しくない。

(参加者) 糸生小との3校同時再編が無難であり、地域の人も納得できるのではないか。

(参加者) 保護者は推進派と慎重派で喧々諤々とやっている。

(参加者) 保護者の誰かが我慢しなければ、意見がまとまることはないだろう。

(参加者) まとめるまとめないではなく、意見を言わないといけない。

(参加者) 説明会の場で言えば良い。家に帰ってからうだうだ言うのは良くない。

(参加者) 説明会は言える雰囲気ではなかったし、説明会で意見を言っていたらそこで真っ二つになってしまう。保護者の半数はもう少し意見を聞いて欲しいとのことである。

(参加者) 3校同時再編にならないものか。皆で一緒に行こうと言っても納得出来ないのではないか。

(参加者) 3校同時では出来ないだろうし、それまで待てない保護者は出てくるだろう。糸生地区の人何も考えていないのではないか。

⇒(教委) 糸生地区の人は少しでも早くという思いはなく、やむを得ないのであれば先に進めて欲しいという感じである。

(参加者) 前回と内容が変わっているが、みんなの言うことを全て聞けばこうになってしまう。前回この案を提示すれば良かったのではないか。なんとか保護者が歩み寄りをし、調整してもらいたい。

⇒(教委) 保護者からアンケートを取って欲しいとの意見もあるので、直接本音を聞いて参考にし、また皆さんと話させて頂きたい。

(参加者) 形だけの児童交流をやられると子どもたちは不安になる。矢継ぎ早にやることによって、子どもたちにどのような影響が出るかわからないので、慎重にやっていただきたい。

⇒(教委) 現在、常磐小の子どもたちも朝日小へ行って学校の雰囲気などを見ている。いきなり教室や行事に入れることは考えておらず、学年を超えて絆を深めていきたいと考えている。

⇒(参加者) 統廃合で出来た中学校の生徒が高校生になった時に、不登校となった生徒が多くいたことを聞いた。中学校の段階でそのような状況なのだからデリケートな問題である。

(参加者) 個人的には糸生小と一緒になれば良いと思っている。朝日小へ行きたい人は行って、在校生は糸生小で卒業すればいい。糸生小も少し児童数が維持され、今の在校生も途中で変わる必要がないと思った。

⇒(教委) 糸生小も同じように児童数は減り、少しは延びてもまた再編の話になる。下の子のためにも早くしてあげたい。

⇒(参加者) 今日話を区の人に話さないといけないが、どう話していいのか。

⇒(教委) 今日の話では、保護者の意見をまとめることが重要だと感じた。もう一度素直に意見を聞いて、その結果をご報告させていただき、その後地区の方にお話させていただく形で良いか。

(参加者) 令和 7 年度か令和 11 年度かどちらかを選ぶ形にするのか。

⇒ (教委) 教育委員会としては令和 7 年度を前提としたい。

⇒ (参加者) 保護者を説得して欲しい。

(参加者) 保護者は自分のことしか考えないから難しい。どこかで落としどころをつけないといけない。

(参加者) 糸生小との話を出したらまた揉めるのではないか。

(参加者) 多少驚かれるかもしれないが、区民の方には今日の話はしようと思っている。団地の方や子どものいない家庭は再編に理解はあるが、子どものいる家庭は現実 2 つに割れる。実際保護者がこのようなやりとりをしていることを知っている地域の方は少ない。糸生小との前倒しは難しいと思うが、3 校同時再編であれば常磐地区は何も言わないであろう。

(教委) 今後、アンケートなどで保護者の意見をお聞きし調整したい。